

2021年2月25日
ジャパン SDGs アクション推進協議会

国連機関、政府、自治体、企業、市民社会などが集結した
官民連携の大規模な SDGs シンポジウム

ジャパン SDGs アクションフェスティバル

国連機関、政府、自治体、企業、団体などマルチステークホルダーが議論

2021年3月26日（金）・27日（土）@オンライン配信

ジャパンSDGsアクション推進協議会（会長・蟹江憲史 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）は、21年3月26日（金）・27日（土）に、「ジャパンSDGsアクションフェスティバル」をオンラインで開催します。蟹江憲史、根本かおる（国連広報センター所長）、宮田裕章（慶應義塾大学医学部教授）、のん（女優・創作あーちすと）など、SDGsのキープレイヤーが集結し、「コロナ禍からの復興と行動」に向け、「今、どのような行動が必要か」を参加者と共有し、具体的な行動につなげていくために議論をします。

本推進協議会は、国連機関と連携しながら、政府、自治体、企業、市民社会などのマルチステークホルダーが一体となり、コロナ禍からの復興に向け、SDGs行動の10年を加速させるため、「気候変動」「貧困と格差・いのち」「ユース世代・ジェンダー」「持続可能な金融システム」「ローカライゼーション」などをテーマに、具体的なアクションについて議論する場を準備してまいりました。

本イベントを通じて、2030年に向けて、SDGsアクションを呼び起こす場になればと願っております。多くの皆様のご視聴をお待ちしています。

※別紙に、本推進協議会から開催にあたってのメッセージを発信しておりますので、合わせてご参照ください。



" コロナ禍からの復興と行動 "



SDG Global Festival of Action
from Japan オンライン一部同時開催！
（共催：国連 SDG アクションキャンペーン / 国連開発計画）



蟹江憲史
（ジャパンSDGsアクション推進協議会会長）



アミーナ・J・モハメッド（予定）
（国連副事務総長）



のん
（女優・創作あーちすと）



宮田裕章
（慶應義塾大学医学部教授）



黒岩祐治
（神奈川県知事）

2021. **3.26** (Fri)、**27** (Sat) 10:00-17:00
オンライン配信（視聴無料）

【参考資料】

【ジャパン SDGs アクション 公式パートナー企業・団体】 ※ 五十音順、敬称略

(1) 協賛パートナー

○ プレミアムパートナー

au じぶん銀行株式会社／MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社／清水建設株式会社／株式会社セブン&アイ・ホールディングス／東洋ライス株式会社／凸版印刷株式会社／株式会社フラグスポーツ／株式会社日刊工業新聞社／日本ガイシ株式会社／みんな電力株式会社／ライオン株式会社／LINE 株式会社／レンゴー株式会社

○ オフィシャルパートナー

株式会社朝日新聞社／学校法人岩崎学園／NTTコミュニケーションズ株式会社／株式会社大林組／サライ株式会社／株式会社ジェイコム湘南・神奈川／湘南電力株式会社／住友ベークライト株式会社／大和ハウス工業株式会社／株式会社テクノシステム／フィード・ワン株式会社／古河電気工業株式会社／株式会社みずほフィナンシャルグループ／株式会社三井住友銀行／三井住友信託銀行株式会社／株式会社三菱 UFJ 銀行／株式会社横浜銀行／株式会社リビエラ

(2) メディアパートナー

株式会社朝日新聞社／株式会社 NHK エンタープライズ／株式会社ジェイコム湘南・神奈川／株式会社日刊工業新聞社／ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン株式会社／株式会社文藝春秋

(3) 連携パートナー

江ノ島電鉄株式会社／小田急電鉄株式会社／京浜急行電鉄株式会社／相模鉄道株式会社／東急電鉄株式会社／東京地下鉄株式会社／一般社団法人 FUKKO DESIGN／横浜高速鉄道株式会社／横浜市交通局（横浜市営地下鉄）

【後援】

外務省／内閣府／金融庁／経済産業省／環境省／（一社）日本経済団体連合会／（公社）経済同友会／（一社）グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン／（公社）日本青年会議所／（一社）SDGs市民社会ネットワーク／地方創生SDGs官民連携プラットフォーム／神奈川県

【お問い合わせ先】

ジャパンSDGsアクション推進協議会事務局 湊、天城

Tel:045-285-0909／FAX:045-210-8865

Email:sdgs-renkei.mx4p@pref.kanagawa.jp

【参考資料】

ジャパンSDGsアクションフェスティバル 概要

-コロナ禍からの復興と行動- 概要

基本テーマ ① 気候変動、② 貧困と格差・いのち、③ ユース世代・ジェンダー
④ 持続可能な金融システム、⑤ ローカライゼーション

内 容

- (1) 趣 旨 多様な活動事例を示すことで、具体的なアクションを呼び起こす
カンファレンス等を、推進協議会会員や国内のSDGs関係団体、
国内メディアと連携して開催
- (2) 開催日 2021年3月26日(金)・27日(土) 10時～17時
- (3) 主 催 ジャパンSDGsアクション推進協議会
- (4) 配 信 オンラインでのライブ配信（2つのチャンネルで配信）
<http://www.japan-sdgs-action-festival.jp>（事前登録不要）
※ページ公開（3月中旬予定）については公式noteサイトでお知らせします。



公式noteサイト：

「10年後の未来をつくるノート」 <https://j-sdgsaction.jp/>

10年後の未来をつくるノート
JAPAN SDGs ACTION

(5) 内 容 以下の通り。※タイトル及び登壇者は変更になる場合があります。＜敬称略＞

＜オープニングセレモニー＞（26日10時～10時30分）

蟹江 憲史 推進協議会会長（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）／
アミーナ・J・モハメッド 国連副事務総長（ビデオメッセージ）（予定）／
アヒム・シュタイナー 国連開発計画総裁（ビデオメッセージ）（依頼中）／
黒岩 祐治 神奈川県知事／宇都 隆史 外務副大臣（ビデオメッセージ）／
紺野美沙子 国連開発計画親善大使（ビデオメッセージ）／
さかなクン（ビデオメッセージ）／女優・創作あーちすと のん

＜オープニングトークセッション＞（26日10時30分～11時10分）

タイトル「SDGs アクションで目指す『Vibrant INOCHI』未来社会～コロナ禍からの復興と行動～」

登壇者 蟹江 憲史 推進協議会会長（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
根本かおる 国連広報センター所長
宮田 裕章 慶應義塾大学医学部教授

＜テーマ別カンファレンス等＞

テーマ①気候変動

	テーマ等	内容・主な登壇者	関係機関
1	気候変動フォーラム ～気候危機への挑戦とコロナ 禍からのグリーンリカバリー～ （27日14時～16時）	気候変動の状況と、コロナ禍を経て求められているグリーン リカバリーに関し私達が取り組むべき行動について議論する ・小泉 進次郎（環境大臣）（ビデオメッセージ） ・末吉 竹二郎（気候変動イニシアティブ 代表） ・国谷 裕子（キャスター、慶應義塾大学大学院特任教授） ・江守 正多（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長） ・高村 ゆかり（東京大学未来ビジョン研究センター 教授） ・高瀬 香絵（CDP Worldwide-Japan シニアマネージャー） ・倉石 東那（持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム 事務局長） ・大野 輝之（自然エネルギー財団 常務理事） ・釣流 まゆみ（セブン&アイ・ホールディングス 執行役員） ・白井 祐介（MS&ADインシュアランスグループホールディングス 執行役員） ・金井 司（三井住友信託銀行 フェロー役員） ・小西 雅子（WWFジャパン 専門ディレクター、昭和女子大学特命教授）	気候変動 イニシアティブ

【参考資料】

2	10年後の気象災害をへらすために、あなたにもできること。 (27日11時40分～12時20分)	近年各地で頻発する大水害。子どもたちの未来を守るために、わたしにできることを考えるセッション ・荒木 健太郎（雲研究者、気象庁気象研究所研究官） ・根本 かおる（国連広報センター 所長） ・河瀬 大作（FUKKO DESIGN 代表理事）	FUKKO DESIGN
---	--	--	--------------

テーマ②貧困と格差・いのち

	テーマ等	内容・主な登壇者	関係機関
1	国連WFPと一緒にゼロハンガーへ（今日からできるSDGs Actions） (26日16時～17時)	ゴール2「ゼロハンガー」を目指し、世界で活動する国連WFPの活動を紹介する ・焼家直絵（国連WFP日本事務所代表）他	WFP（国際連合世界食糧計画）
2	ME-BYO シンポジウム2021（同時開催） ～未病改善を通じた健康づくりと感染症対策～ (27日10時～12時)	コロナ禍においても未病改善を実践し、健康でいきいきと暮らすために必要なこと等について専門家が議論する ・黒岩祐治（神奈川県知事） ・向井千秋（宇宙飛行士、東京理科大学特任副学長）他	ME-BYOサミット神奈川実行委員会

テーマ③ユース世代・ジェンダー

	テーマ等	内容・主な登壇者	関係機関
1	誰もが、世界を変える力を持っている。～ユース世代からの行動のメッセージ～ (26日12時30分～14時10分)	ユース世代（10～30代）の6人の活動家がジェンダーやコロナ禍からの復興などのテーマについてクロストークを行う ・高木超（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教） ・たかまつなな（時事YouTuber／お笑いジャーナリスト） ・飯山 智史（EMPOWER Project 共同代表） ・小澤 杏子（ユグレナ初代CFO(Chief Future Officer)） ・平 希井（NPO法人循環生活研究所 コンポストアドバイザー） ・田才 諒哉（ササカフ・アフリカ財団 ジュニアプログラムオフィサー） ・能條 桃子（No Youth No Japan代表理事） ・ルイスロビン敬（代表理事一般社団法人Social Innovation Japan）	SDGs-SWY
2	外国につながるのある私たちと日本の学校～すべての子どもたちが共に学び共に育つあたたかな学校の実現に向けて～ (26日14時50分～15時50分)	多文化共生社会実現に向け、外国につながる子どもとして神奈川県内の小中学校で育った若者らの体験から、今後のアクションを探る ・安富祖樹里（NPO法人ABCジャパン ユースワーカー） ・太田亜理佐（愛川町インクルーシブサポーター 日本語指導協力者） ・ナウム サード ビン（友元機械） ・滝坂信一（JICA横浜技術顧問）	JICA横浜 神奈川県教育委員会
3	SDGs QUEST みらい甲子園神奈川県大会 (27日10時～11時30分)	高校生がSDGsの課題解決に向けた行動のアイデアを探索し発表する ・県内高校生など	神奈川県、SDGs QUEST みらい甲子園実行委員会
4	未来へのアクション！ ～高校生ボランティア～ (27日14時～14時30分)	高校生たちの熱い志と柔軟な発想、エネルギー溢れる行動の事例と未来へのメッセージを紹介する ・世良マリカ（モデル・タレント） ・宮城県農業高校・農業経営者クラブ ・鈴鹿中等教育学校・二代目SOM	NHKエントプライズ
5	Z世代の環境活動家の「頭の中」を田原総一郎が直撃 by 相席なま田原 (27日14時40分～15時20分)	20歳の彼女がなぜ大学を休学して環境活動の講演を続けるのかを紐解く ・田原総一郎（政治評論家） ・露木志奈（環境活動家）	withnews
6	普通の中高生が行動する中高生になったわけ (27日15時40分～16時20分)	コロナ禍でも活動続ける3組の中高生の話から、若い世代がアクションをつくるヒントを共有する ・上田壮一（Think the Earth） ・入江遥斗（横浜国立大学） ・チョコプロ（湘南学園中学校高等学校） ・やさしいせいふく（東京都内の中高生） ・チームインディバ（千葉県立小金高等学校）	SDGs for School (Think the Earth)

【参考資料】

テーマ④ 持続可能な金融システム

	テーマ等	内容・主な登壇者	関係機関
1	「論語と算盤」でSDGs～ 渋沢 栄一に学ぶ～ (26日12時50分～13時20分)	渋沢栄一翁の著書「論語と算盤」を紐解き、SDGsを学ぶ 特別講演 ・渋澤健（コモンズ投信取締役会長） ・MITSUMI（FM30ハマDJ）	

テーマ⑤ローカライゼーション等

	テーマ等	内容・主な登壇者	関係機関
1	SDGs各種アワード紹介 (26日11時10分～12時40分)	受賞した取組などをわかりやすく紹介 ・ジャパンSDGsアワード ・「STI for SDGs」アワード ・SDGsクリエイティブアワード ・脱炭素チャレンジカップ	外務省、国立研究 開発法人科学技術 振興機構、SDGsク リエイティブアワード 実行委員会、脱炭 素チャレンジカップ実 行委員会
2	一人一人の力を生かす「新しい復興支援」 (26日11時50分～12時20分)	東日本大震災から10年、多くの人が参加する「これからの復興支援」について語る ・のん（女優・創作あーちすと） ・荻上チキ（評論家・編集者）	FUKKO DESIGN
3	地域×SDGs×ビジネス SDGsインディケーターが 変える未来 (26日13時30分～14時40分)	地域の中小企業がどのようにSDGsを経営に取り入れ、2030年に向けコロナ禍からの復興と社会課題解決に取り組んでいくべきかを議論する。 ・川久保俊（法政大学デザイン工学部准教授）他	日本青年会 議所
4	地域循環共生圏（ローカルSDGs）実現に向けて (26日14時30分～17時)	ポストコロナ時代に向けて、地域資源を最大限活用しながら自立・分散型社会の形成を目指す、地域循環共生圏（ローカルSDGs）を創造するためのビジネスに必要な視点や要素等について紹介する。 ・中井徳太郎環境事務次官	環境省
5	地産地消で守る！生物多 様性 (27日12時20分～13時40分)	生物多様性とは？SDGsや生物多様性のために、身近な暮らしからできる事は何か考える。 ・五箇公一（国立環境研究所） ・NOMA（モデル・森里川海アンバサダー） ・鎌田安里紗（モデル・エシカルファッションプランナー・森里川海アンバサダー）他	環境省 国連生物多 様性の10年 日本委員会 (UNDB-J)
6	ファッションとSDGs (27日13時10分～13時50分)	ハフポスト編集長竹下隆一郎さんが、鎌倉サステナビリティ研究所代表の青沼愛さんと、Z世代のハフポストライターである林慶さんにSDGsのことを聞き尽くす。 ・青沼愛（鎌倉サステナビリティ研究所） ・竹下隆一郎（ハフポスト編集長） ・林慶（Z世代ハフポストライター）	ハフポスト

<ローカルSDGsアクション紹介>

各カンファレンスの幕間に、SDGs未来都市等を中心とした、ローカルSDGsアクションを紹介する動画等を配信します。

<クロージング>（27日16時20分～17時）

- （1）SDG Global Festival of Action からのメッセージ
- （2）神奈川県知事からのビデオメッセージ
- （3）ユース世代からのメッセージ タイトル「みんなでつくろう、みんなの未来～2030年に向けて～」
- （4）トークセッション タイトル「SDGs アクションフェスティバルを振り返る」
- （5）ゲストスピーチ
- （6）クロージングメッセージ

【参考資料】

(1日目)

チャンネル 1	チャンネル 2
10:00～11:10 オープニングセレモニー、トークセッション SDGs アクションを目指す『Vibrant INOCHI』未来社会～コロナ禍からの復興と行動～	
11:50～12:20 <その他> 一人一人の力を生かす「新しい復興支援」	11:10～12:40 <その他> SDGs 各種アワード紹介
12:30～14:10 <ユース世代・ジェンダー> 誰もが、世界を変える力を持っている。 ～ユース世代からの行動のメッセージ～	12:50～13:20 <金融> 「論語と算盤」で SDGs ～渋沢栄一に学ぶ～
14:30～17:00 <ローカライゼーション> 地域循環共生圏（ローカル SDGs）実現に向けて	13:30～14:40 <ローカライゼーション> 地域×SDGs×ビジネス SDGs インディケーターが変える未来
	14:50～15:50 <ユース世代> 外国につながるのある私たちと日本の学校 ～すべての子どもたちが共に学び共に育つあたたかな学校の実現に向けて～
	16:00～17:00 <貧困と格差・いのち> 国連 WFP と一緒にゼロハンガーへ （今日からできる SDGs Actions）

(2日目)

チャンネル 1	チャンネル 2
10:00～12:00 <貧困と格差・いのち> ME-BYO シンポジウム 2021（同時開催） ～未病改善を通じた健康づくりと感染症対策～	10:00～11:30 <ユース世代> SDGs QUEST みらい甲子園神奈川県大会
12:20～13:40 <ローカライゼーション> 地産地消で守る！生物多様性	11:40～12:20 <気候変動> 10 年後の気象災害をへらすために、あなたにもできること
	12:30～13:00 調整中
14:00～16:00 <気候変動> 気候変動フォーラム ～気候危機への挑戦とコロナ禍からのグリーンリカバリー～	13:10～13:50 <その他> ファッションとSDGs
	14:00～14:30 <ユース世代> 未来へのアクション！～高校生ボランティア～
	14:40～15:20 <ユース世代> Z 世代の環境活動のいま
16:20～17:00 クロージング	15:40～16:20 <ユース世代> 普通の中高生が行動する中高生になったわけ

【参考資料】

＜連携イベント＞

「ジャパンSDGsアクションフェスティバル」と連携して、各主催団体により、下記イベントを同時開催します。詳細は、各団体のWebページ等をご参照ください。

	タイトル	内容・主な登壇者等	主催
1	「途上国支援・技術開発とSDGs－日本企業のアクションを広めよう」 (26日10時30分～12時20分)	資金や人材に限られる中で、自社の利益を確保しながらSDGsに関する継続的な活動を展開している企業は、大手企業だけでなく、中小企業にも広がりを見せているのが現状です。こうした企業の事例を取り上げることで、SDGsに対する貢献のあり方を提示し、同様の活動を展開する企業の輪を広めることを目的にカンファレンスを開催します。	日刊工業新聞社
2	SDGs169ターゲットアイコン 日本版の発表会 (26日16時30分～17時30分)	SDGs達成へ向け、一人でも多くの人の具体的な行動を促進するために「SDGs169ターゲットアイコン日本版制作プロジェクト」にて、SDGs17のゴールの下に設定された169のターゲットアイコンの日本版コピーの作成を進めてきました。約3か月の選考を経て完成した日本版コピーを発表いたします。	SDGs169ターゲットアイコン日本版制作委員会
3	SDGsアート展「Co-Exist・Co-Create」 (26,27日両日10時00分～20時00分)	「Co-exist Co-Create＝共に生きる、共に創る」をテーマに、アートとスポーツを通して生物多様性や環境への理解を深め、具体的な行動を後押しする参加型ソーシャルグッドアクションです。11月に県民参加で行われた「スポゴミ大会in片瀬東浜」にて集められた海岸のゴミを材料に作られたアート作品を通し、海の生き物から見る私たち人間の生活を考えるきっかけを提供します。	株式会社WATASU、SDGs17Club

＜共催イベント＞

SDG Global Festival of Action from Japan

国連年次イベント「SDG Global Festival of Action」の初のサテライトイベントとして、国連機関等と連携してオンライン開催

※具体的な内容は、後日発表いたします。

- (1) 趣 旨 コロナ禍や気候危機、格差が広がる中、人と地球は転換期を迎えています。SDGs達成に向けて活動する国内外の参加者をつなぎ、日本と世界における最新の取り組みを学び合うことで、達成に向けた行動を加速します。
- (2) コンセプト #TurnItAround for People and the Planet
- (3) 基本テーマ 気候変動対策、貧困と格差、ジェンダーの平等、包摂的なシステムと持続可能な金融
- (4) 開催日 2021年3月25日（木）18時00分～20時30分（予定）
26日（金）17時00分～23時00分（予定）
- (5) 主 催 国連SDGアクションキャンペーン／国連開発計画
ジャパンSDGsアクション推進協議会
- (6) 言 語 英語（日英同時通訳あり）※国際社会から約半数登壇



【参考資料】

【参考：ジャパン SDGs アクション推進協議会について】

「SDGs アクションフェスティバル」の開催に向けて、官民のあらゆるステークホルダーの参画のもと、日本における SDGs のさらなる認知拡大と、国連が提唱する SDGs 達成に向けた「行動の 10 年」に沿った具体的な行動につながる取組みの推進を目的として、SDGs に関する国内の主要ステークホルダー 15 団体が参画し、令和 2 年 6 月に設立。

推進協議会は、ポストコロナ社会において、“みんなでつくろう、みんなの未来”をコンセプトに掲げ、日本の SDGs アクションを推進する官民連携プロジェクト「ジャパン SDGs アクション」を令和 2 年 7 月から推進。

【ジャパン SDGs アクション推進協議会構成団体】

外務省／内閣府／金融庁／環境省／経済産業省／一般社団法人日本経済団体連合会／公益社団法人経済同友会／一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン／公益社団法人日本青年会議所／一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク／SDGs-SWY／次世代の SDGs 推進プラットフォーム／地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム／神奈川県／慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ

ジャパン SDGs アクションフェスティバルを開催します
～医療従事者等への感謝を心に、コロナ禍からの復興と行動を目指そう～

ジャパン SDGs アクション推進協議会
会長 蟹江 憲史

私たちジャパン SDGs アクション推進協議会は、2030 年までの SDGs 達成に向け、「行動の 10 年」に沿った取組みとして、国連機関などと連携し「ジャパン SDGs アクションフェスティバル」を開催します。

新型コロナウイルス感染症は、世界で格差と不平等を拡大しており、誰一人取り残さない、SDGs の理念及び取組みはますます重要になっています。アクションフェスティバルでは、コロナ禍からの復興に向けて、様々なステークホルダーが連携し、一人でも多くの人々に「今どのような行動が必要なのか」を問いかけ、具体的な行動事例などをメッセージとして国内外へ発信してまいります。

また、アクションフェスティバルの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で今なお闘い続け、「いのち」を守るために必死で働かれている医師、看護師等の医療従事者等の皆様に、心から尊敬の念と感謝の気持ちをお伝えします。昨年来、新型コロナウイルス感染症と長い闘いを続ける皆様方の活躍無しには、私達の現在の生活や社会は成り立ちません。医療従事者の皆様に対する感謝の気持ちの輪を、アクションフェスティバルを通して、一層広げていきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、多くの人々に自らの行動が、社会に与える影響について考える機会となったとも言われています。今こそ、「誰一人取り残さない」という SDGs の理念を具体的な行動として実現する時です。「みんなでつくろう、みんなの未来」をキーワードに、アクションフェスティバルを契機として、心を一つにコロナ禍を乗り越え、より良い復興を実現しましょう。